

鳴立庵だより

鳴立庵とは、江戸時代から続く俳諧道場である。
初代庵主大淀三千風が開き、現在では京都の落柿舎、滋賀の無名庵と並び日本三大俳諧道場と呼ばれているといえる。



鳴立庵大使「えんいくん」

今月の俳句

風邪ごこち 蓋の裏にも

ヨオグルト

名古屋中学校

富田 輝

今月の短歌

読みかけのままの「ごころ」を
開くとき 優先席に 満ちた静謐

愛知県立時習館高等学校

山田 ひなの

季語は「風邪」。「風邪」は昔からある冬の病気。インフルエンザなどということになると一大事だが、軽い「風邪」だと寝込んでしまつこともなく、四五日で癒えることが殆どだ。「鼻風邪」なんていうのもあって発熱すらしない場合も。この句も「風邪ごこち」。暖かくして静かにしていれば治つてしまうであろう。そうそう「ヨオグルト」でも食べて滋養をつけよう、というところだろうか。「蓋の裏」について「ヨオグルト」を舐める姿は、心配いらないようだ。

(鳴立庵庵主 本井 英)

「ごころ」は、教科書にも掲載される夏目漱石の小説。人間のエゴイズムに思い悩む倫理が描かれている。人間関係のなかで揺れ動く心の綾を追ってゆく。読みかけている作者は優先席にすわってページを開きます。すると本に没頭して辺りの騒音が聞えなくなりまふ。結句の「静謐」は、物理的な静けさではなく、本の内容に集中してゆく気持ちを表したものでしょう。一首では「優先席」が効いています。何かは分かりませんがハンディを負っているのです。

(西行祭選者 今井 恵子)

講座の申込み・問合せ 鳴立庵 ☎(61)6926

講師 対象 定員 費用 持ち物 申込み

講座名	日程	時間	備考
秋の講談独演会	11月8日(土)	開場13時 13時30分～ 14時30分	秋の講談独演会 大磯まつり2025 演者 講談師 一龍斎 貞奈 氏 定30人 費2,000円(入庵料込)
座禅	11月16日(日)	13時30分～ 14時30分	姿勢・呼吸・心を整えます 講慶林寺住職 豊田 素道 氏 定10人 費500円(入庵料込)
伝筆	11月23日(日)	10時30分～ 正午	温かみのある文字が書けるようになる筆文字教室 講認定講師 わでん伝筆マスター 宮前 礼子 氏 対中学生以上 定10人 費3,850円(材料費込)
花の会	11月26日(水)	14時～16時	楽しいクリスマスアレンジ 講府川 葉月 氏 定18人 費2,500円(入庵料込) 持はさみ、タオル、持ち帰り袋
茶と遊ぶ	12月14日(日)	10時～正午	みちかぜ茶会 講高野 幸代 氏 定12人 費2,000円(お茶菓子付き・入庵料込)

「めいど いん おおいそ」 登録産品紹介

大磯らしい潤いづくり協議会 (大磯町商工会)
☎(61)0871



【芦川酒店】
問合せ先：
☎(61)0411



大磯米焼酎 はるみ

【特定非営利法人湘南スタイル】
問合せ先：☎0467(86)9200



湘南オールインワンスキンケアローション

【お茶の店ニルマーネル&高野茶園】

HPはこちら：



お店からのひとこと：

大磯の偉人それぞれのストーリーと絡めたオリジナルティです。



偉人に飲んでもらいたいお茶シリーズ